

■木原均 遺伝学者。ゲノム分析で独自の業績。“種なしスイカ”で知られ、カラコルム探検隊長、冬季オリンピック団長も。

きはらひとし
郡司千島探検1893＝ 東京で生まれる。男4人・女5人兄弟の8番目。
日清戦争始・1894＝ 1歳：

教科書疑獄・1902＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝12歳：

少年時代には南米での大農場経営を夢見ていた。

大逆事件判決1911＝18歳：
明治天皇没・1912＝19歳：麻布中学校を卒業し、東北帝国大学農科大学(北海道大学)予科に入学。

民本主義・・・1916＝23歳：北大野球部投手として活躍する一方、スキージャンプの研究に着手、
ロシア革命・1917＝24歳：小樽に日本初の仮設ジャンプ台を作るなど、スポーツマンぶり。
本格政党内閣1918＝25歳：北海道帝国大学農学科(生物学)を卒業。大学院に進み、坂根徹の後受継ぎ「五倍小麦雑種の研究」開始。
ベルリン条約・1919＝26歳：遠藤吉三郎と共著で、「最新スキー術」出版。
大暴落・・・1920＝27歳：京都帝国大学理学部助手となり、
原敬首相暗殺1921＝28歳：

関東大震災・1923＝30歳：*「高等植物の性染色体」を発見。
護憲三派圧勝1924＝31歳：助教職に進み、
治安維持法・1925＝32歳：理学博士の学位取得、ベルリンに留学し、メンデルの法則を再発掘したコレンスに学んで、
円本時代始・1926＝33歳：日本代表として国際スキー連盟加盟を実現。
金融恐慌・・・1927＝34歳：帰国とともに、京都帝国大学教授となり、遺伝子講座を開設。

世界恐慌・・・1929＝36歳：
海軍軍縮条約1930＝37歳：‘コムギおよびエギロプスのゲノム分析’を開始し、第一報を発表。
満州事変・・・1931＝38歳：*「ゲノム説」を確立。

二二六事件・1936＝43歳：「倍数性植物の利用に関する研究」を開始、
日中戦争始・1937＝44歳：
健保+総動員 1938＝45歳：内蒙古の生物学的調査に従事、
戦時中には、大学農場で米やサツマイモつくって食糧確保、
大政翼賛会・1940＝47歳：日本遺伝学会賞。
日米開戦・・・1941＝48歳：
・・・1942＝49歳：木原生物研究所を創設し、所長。
創価学会検挙1943＝50歳：学士院恩賜賞、野間学術賞。
年金+総武装 1944＝51歳：日本遺伝学会会長。ようやく‘パンコムギがマカロニコムギにタルホコムギが交配したもの’と発見。
敗戦・・・1945＝52歳：
新憲法公布・1946＝53歳：「合成パンコムギ作出」に成功。
新憲法施行・1947＝54歳：「小麦の祖先」。「タネナスイカの研究」を開始、
極東裁判決・1948＝55歳：「実験遺伝学」。ストックホルムの国際遺伝学会に出席。*早くも文化勲章。
三大事件・・・1949＝56歳：日本学士院会員、学術会議会員。「核細胞質雑種を作出する「核置換法」を確立。
朝鮮戦争始・1950＝57歳：「コムギの左右性の研究」を開始。
独立回復・・・1951＝58歳：第一回文化功労者。
メーデー事件・1952＝59歳：アメリカ園芸学会賞。

このほか、スイバの性染色体研究も行い、「ゲノム分析法は世界的に高く評価された。

パンコムギが自然界で生まれた場所を知ると、

55年体制始・1955＝62歳：カラコルム・ヒンズークシ学術探検隊を組織し、パンコムギ祖先の地を発見。国立遺伝学研究所所長、あわせて木原生物研究所を横浜に移転。

国連加盟・・・1956＝63歳：京都大学退官し、名誉教授。
イヌクマ事件・1958＝65歳：第1回国際コムギ遺伝学シンポジウム開催を提唱。
美智子妃・・・1959＝66歳：イネの起源を探るべく、シッキム・アッサム探検。
安保闘争・・・1960＝67歳：フィリピンに設置された国際イネ研究所(IRRI)初代理事となり、「イネの細胞遺伝学的研究」を開始。第8回スコーバレー冬季オリンピック選手団長、
この間、箱根のヤマボウシ茂る原生林に上がったゴルフ場計画に、先頭に立って反対運動し、これを守り、のちに「箱根樹木園」となる。また世界中から4000種に及ぶトウガラシを収集し、種の保存にも努める。
東京オリンピック 1964＝71歳：農林省植物ウイルス研究所長。第9回インスブルック冬季オリンピック選手団長も務め、

大学紛争始・1965＝72歳：
いざなぎ景気1966＝73歳：コムギの起源求めて、コーカサス地方植物探索。この年開発されて世界に「緑の革命」をもたらした稲の新品種は、国際イネ研究所の学者が木原研究所に来訪して「農林10号」の存在を知ったことに始まっている。
全日本スキー連盟会長になるなどスポーツ界への貢献も大きい。

全共闘闘争・1969＝76歳：国立遺伝学研究所所長を退官。木原生物研究所三島分室開設。

トルシヨク・・・1971＝78歳：「箱根の植生」「自然界における左右性の研究」開始。

石油ショック1973＝80歳：南米スリナム植物探索。

角栄金脈辞任1974＝81歳：以後8年間、麻布学園理事長、

クアンプール事件1975＝82歳：勲一等旭日大綬章。

田中角栄逮捕1976＝83歳：この時点で‘地球は人間だけのものではなく、全ての生物のもの’と警鐘鳴らす。

革新大敗北・1979＝86歳：遺伝学振興会遺伝学大賞。

・・・1981＝88歳：以後3年、日本学士院第二部会長、

・・・1984＝91歳：木原生物研究所を横浜市立大学に移管し、木原記念横浜生命科学振興財団が発足するのを見て、

バブル始・・・1986＝93歳：没した。

DVD学問と情熱第36巻「木原均」、『没年日本史人物事典』、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、